

平成21年度「科学技術連携施策群」のとりまとめについて

平成22年3月3日
分野別推進戦略総合PT

1. 科学技術連携施策群の概要

「科学技術連携施策群」(以下「連携群」という。)は、テーマごとのコーディネーターを中心として、各府省において実施される関連施策の連携強化、重複排除等の調整活動を行い、関連施策の成果の最大化を図る仕組みである。

連携強化の観点から補完的に実施すべきと総合科学技術会議が判断した研究開発課題(補完的課題)については、科学技術振興調整費を活用して実施されている。

平成17年度より8テーマ/群について開始した後、19年度より新たに6テーマ/群が追加され、合計14テーマ/群について実施されてきた。

このうち、19年度をもって補完的課題が全て終了した3テーマ/群については19年度末から20年度初めにかけて、20年度をもって補完的課題が全て終了した5テーマについては20年度末から21年度初めにかけて取りまとめを行い、それぞれ分野別推進戦略総合PTに報告されている。

2. 平成21年度に補完的課題が終了する連携群の取りまとめ

本年度は6テーマ/群について補完的課題が全て終了するため、これらの連携群について、次ページ以降の事項について簡潔に整理する。

3. 今後のスケジュール

平成22年4月～6月に取りまとめを行い、その後に開催される分野別推進戦略総合PTに報告する。

目次構成(案)

1. 科学技術連携施策群について

- (1) 制度の目的と手法
- (2) 連携施策群の対象テーマ
- (3) 推進体制
- (4) 補完的に実施すべき研究開発課題(補完的課題)の実施

2. 各科学技術連携施策群の活動と成果、研究目標の進捗状況の評価

【各連携施策群毎に記載】

(1) ○○○連携施策群の目標

- ※ 関連分野等における当該連携施策群の位置付け(戦略重点科学技術との関係を含む)、及び明確な研究目標(方向性と具体的成果、評価指標)を記載するとともに、目標をたてた背景(開始時の状況と問題点)についても併せて記載。

(2) ○○○連携施策群の活動

① 府省間等の連携活動

- ・ 連携システム及び連携活動の総括

- ※ マッチングファンドや合同検討委員会の設置、関連技術マップの作成・共有化・活用、連携促進のための関連施策、地域における連携活動等の具体的な活動成果を記載。

- ※ 連携の最終的な俯瞰図(本連携群に登録された各府省の施策間、及び補完的課題との関係を俯瞰した図)を含む。

- ※ 連携施策群に含まれている府省施策の一覧表(施策名、施策期間、担当府省、各年度の予算額・執行額、政策・成果目標及び目標達成状況を記載したもの)を含む。

② 補完的課題の成果概要

- ・ 課題の概要
- ・ 成果の概要

- ※ 成果の詳細(研究成果報告書ではなく数頁程度のものを想定)については別途資料を添付。

(3)〇〇〇連携施策群の成果と研究目標の進捗状況の評価

※ 連携施策群としての具体的な成果を記載して研究目標(方向性と具体的成果、評価指標)の達成状況について評価するとともに、目標どおり(又は目標以上に)達成された背景や理由を記載。

※ 上記と併せ、残された課題や問題点、残された原因／理由についても具体的に記載。

【成果の例】

- ・ 新たに付加された価値・成果、調整により改善を行った施策
- ・ 新たに連携を行うこととなった施策、不必要な重複の排除を行った施策
- ・ 予算の効率化(削減)を行った施策
- ・ 成果の社会への還元の加速化(開発時期の早期化等) 等

【残された課題や問題点の例】

- ・ 関係係者間での情報交換や交流は進んだものの、予算の効率的・効果的な利活用や開発時期の早期化といった具体的成果が見られなかったもの 等

(4)今後の課題

※ 今後の連携方策を含めて記載。

※ 残された課題や問題点に対して考えられる対応策についても記載。

(5)参考

- ・ 全体をまとめたポンチ絵の作成

※ 目標－活動－成果と研究目標の進捗状況を評価。

※ 主な具体的成果の事例(一つ以上)を記載。

(参考)

平成21年度に補完的課題が終了する連携群の一覧

名 称 【関係府省】	主 監 担当PT	補完的課題
臨床研究・臨床への橋渡し研究 【文科省、厚労省、経産省】	松澤 佑次 (財)住友病院院長 ライフサイエンスPT	「臨床研究者の人材育成に向けた取組み」
食料・生物生産研究 【内閣府(食品安全委員会)、文科省、厚労省、農水省、経産省】	小川 奎 (財)日本植物調節剤研究協会会長 ライフサイエンスPT	「植物・微生物間共生におけるゲノム相互作用」
情報の巨大集積化と利活用基盤技術開発 【総務省、文科省、経産省】	西尾 章治郎 大阪大学理事・副学長 情報通信PT	「センサ情報の社会利用のためのコンテンツ化」
総合的リスク評価による化学物質の安全管理・活用のための研究開発 【厚労省、農水省、経産省、国交省、環境省】	安井 至 (独)製品評価技術基盤機構 理事長 環境PT	「化学物質情報プラットフォームの構造とその活用に関する調査研究」
ナノテクノロジーの研究開発推進と社会受容に関する基盤開発 【文科省、厚労省、農水省、経産省、環境省】	中西 準子 (独)産業技術総合研究所安全科学研究部門長 ナノテクノロジー・材料PT	「ナノテクノロジーの研究開発推進の共通基盤となるデータベース指標の構築に向けた調査研究」
テロ対策のための研究開発－現場探知システムの実現－ 【内閣官房、警察庁、総務省、財務省、文科省、経産省、国交省、防衛省】	森地 茂 政策研究大学院大学 教授 社会基盤PT	「放射性物質の探知技術に関する研究」